

## 2025年度 第3回災害支援委員会 議事録

日時：2025年12月18日（木）19時30分～ Zoom

参加者：9名（長坂・本多・狩野・番場・篠原・福永・永尾・小淵・小須田）

### ○報告事項

#### 1. 日本協会関連

- ①11/15（土）関東甲信越ブロック協議会：福永。篠原は主催者側として参加。  
グループワーク。埼玉県で豪雨水害が発生し、地域の生存確認をシミュレーション。  
アンケートの内容が各県にフィードバックされることになっている。

#### 2. DWAT 関連

- ・11/2 ハワイラブタウン高崎：長坂（11/2）篠原（11/2・3）参加。  
段ボールベッドなど。子連れの参加者が多かった。
- ・11/9 スマーク伊勢崎 介護のイベントでDWATのブースを出した：長坂が参加。  
内容は11/2と同様。参加者はほとんどが子連れ。
- ・1/19HUG（避難所運営ゲーム）ファシリテーター養成講座：篠原（講師）・長坂が参加。
- ・1/29 能登の高齢者被災者把握事業：長坂が参加
- ・3/5 全体会：長坂が参加
- ・2026年1/8・15・21 茨城DWAT養成講座・2/19 茨城DWAT チームリーダー養成講座  
⇒篠原が講師を務める予定。

#### 3. 各事業の執行について

##### ①ソーシャルワーカー3団体の災害支援交流会

次年度以降、連盟の研修として行うかどうか、3団体で協議が必要。

SW連盟は、災害支援・権利擁護・広報を共有することになっていたが、会長が替わり、この話は引き継がれていない。連盟で予算計上して行っているのはSWデーのみ。

予算のことなど考えると、3団体の災害支援委員会合同研修という形が現実的か。

来年度は、MHSW協会がSW連盟の幹事となるため、整理が必要。

MSW協会・社会福祉士会の意見も確認する。

##### ②MHSW 首都圏災害ネット研修

- ・日程は2/28（土）PM ハイブリッド開催
- ・会場は高崎。高崎白銀ビル（60名収容）を検討している。（会場は持ち回り）  
研修後に懇親会も行う。

- ・費用は日本協会の助成金が 20 万円出るため、県協会からの持ち出しはない見込み。
- ・内容は、能登の人を講師に招いて講演＋グループワーク  
年明けにチラシを配布する。

③士業団体による「被災者等相談支援に関する協定」について  
動きはなし

④1 2月6日開催の3団体共催研修の振り返り

- ・委員会メンバー以外の参加がなかった。もう少し積極的に声かけをするべきだった。
- ・参加しやすい時間設定だった。
- ・研修としては短め。もう少し聞きたい感じはあった。
- ・弁護士の話が面白かった。
- ・色々な助成制度、補助金、カードゲームで取り組みやすい
- ・MHSW 協会の定例会でもできる内容。  
カードゲームを作った先生に許可をいただくことはできるか
- ・家屋調査士などと士業で連携することの大事さを感じた
- ・生活再建で使える制度を組み合わせると、意外となんとかなるという発見があった。
- ・研修費（各団体 16,200 円）は、委員会の予算で負担。

#### ○検討事項

1. 災害対策計画の見直しについて

- ・4月に見直し済み。今後、少しずつ整理していく。
- ・県協会の災害対策計画はない。  
日本協会の対策計画を部分的に流用し、共同する形にしていく。  
県協会との共同については、フローチャートを修正。

#### ○ その他

1. LINE ワークスを使った訓練

- ・今年度は委員のみで行う。
- ・地震想定。1月下旬の理事会の時間内に担当理事が発信。
- ・日程はあらかじめ委員に伝えておく。

○次回の会議：2026年2月12日（木）19：00～ 会場はケンクリニック